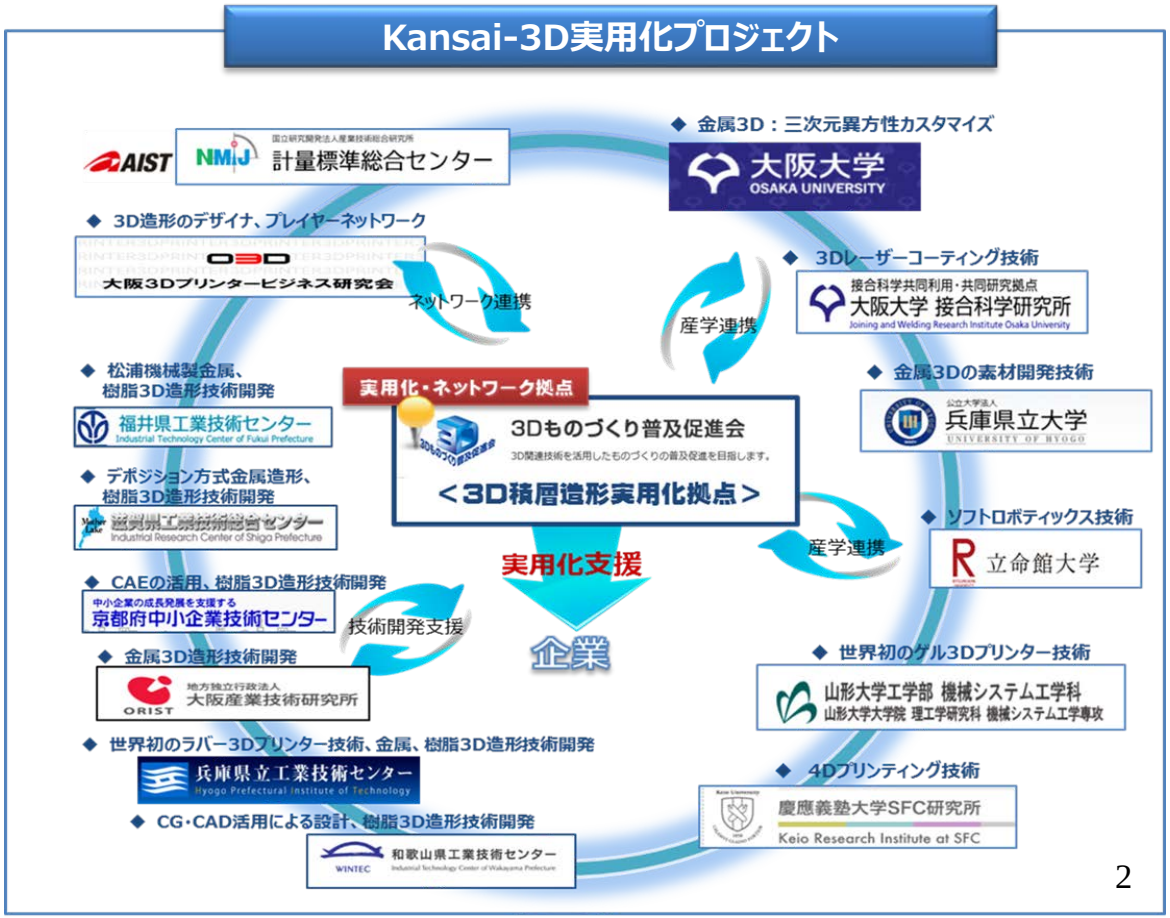
広域産学官連携ネットワーク「Kansai-3D実用化プロジェクト」

別紙 2

- グローバルにおいて加速化する「3D積層造形による量産化」に対応するため、**近畿経済産業局は、3D積層造形を活用した新たなモノづくりの普及を目指し活動してきた㈱立花エレテックが事務局である「3Dものづくり普及促進会」との連携により、2019年１月に日本初となる「Kansai-3D実用化プロジェクト」を発足**。複数のTV放映やプレスの記事で掲載され、大きな反響となり、**会員企業は全国で400社を超えている。**
- 本プロジェクトでは、企業における3D積層造形活用のための課題対応や先端的な技術開発支援のために、産学官連携による広域ネットワークを構築。㈱立花エレテックが事務局となり、ALL-JAPANの企業を対象に、様々な分野での「新たなモノづくりの変革モデル」を創出支援を展開。

近畿経済産業局長
プレス発表
（1/24）

朝日放送
夕方番組「CAST」放映
（5/8）